



山陽小野田市

本山地区地域づくり計画書(概要版)

令和6年～令和10年 本山地区運営協議会「本山地区を愛する会」

1 地域づくり計画策定について

私たちが住んでいる本山は、竜王山や本山岬、きららビーチ焼野など豊かな自然環境に恵まれた地域で、慰霊祭やふれあい盆踊りなどの行事も盛んに行われ、昔から地域で助け合いながら暮らしてきました。

しかし、近年は人口減少、少子化・高齢化が急速に進むことに加えて、現代の多忙な生活に追われ、各自治会でも役員になる人が不足する、地域行事の担い手や参加者が減少するなど、生活に潤いやゆとりがなくなり、地域としての活気が失われつつあります。

そこで、多様な担い手が協力してまちづくりに取り組む「協創によるまちづくり」を推進するため、地域で暮らす人々が中心となって「**地域運営組織(RMO)**」を形成することとなりました。山陽小野田市では、この「地域運営組織」を「**地区運営協議会**」と名づけ、多様な主体が参画し様々な視点から、また自由な発想での地域課題解決に向けた取組を持続的に実践できる体制づくりを推進しています。この会が主体的に策定した「地域経営の指針」である「**地域づくり計画**」によって、地域課題の解決に向けた取組を行うとともに、地域の資源を活かした新たな価値を創出していくこととしました。

2 地域づくり計画の目的

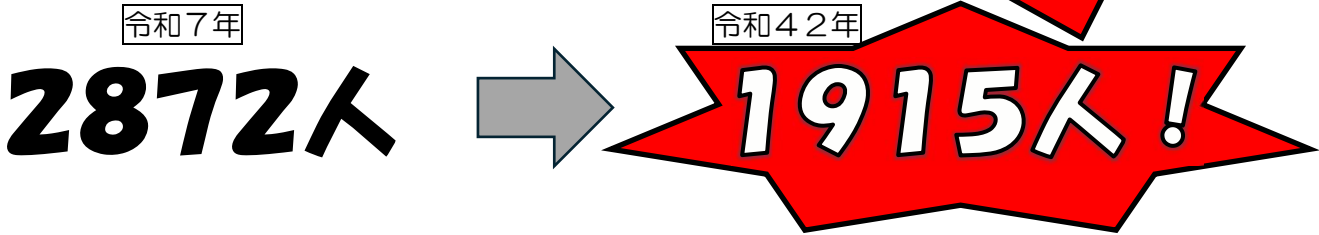
人口減少、少子化・高齢化が進む中で、**未来にわたって持続可能で、住みよい安心・安全なまちを地域の方々の協働の力でつくっていくこと**を目的としています。そのため、「みんなの本山地域づくりアンケート」や「地域づくり会議」で出された現状と課題、取り組む事業の方向性を地域全体で共有し、協働して進めていくためのよりどころとなる計画です。

3 計画の期間

この地域づくり計画は、2024年度（令和6年度）を初年度に、2028年度（令和10年度）までの**5年間の計画**とします。ただし、社会情勢の変容や住民ニーズの変化などに柔軟に対応していくため、必要に応じて見直すものとします。

※地域づくり計画の正式版は、10月以降センターで自由にご覧いただけます。

本山地区将来推計人口



本山地区では、予測より早いペースで人口減少が続き、現在すでに令和7年の推計を下回っています。令和42年の推計で見れば、高齢化率（39.3%）は市全体（36.3%）より高く、年少人口率（10.2%）は市全体（11.1%）より低い状況です。この人口減少及び少子高齢化の急速な進行により、地域の活力は低下していくと予測されます。チーム本山として、地域住民全員参加のまちづくりが望まれるところです。

	R7	R12	R17	R22	R27	R32	R37	R42
年少人口	311	288	267	251	238	224	209	195
生産年齢人口	1,492	1,429	1,355	1,239	1,147	1,076	1,020	967
老年人口	1,069	1,013	963	947	910	864	810	753
総数	2,872	2,730	2,585	2,437	2,295	2,164	2,039	1,915
年少人口割合	10.8%	10.5%	10.3%	10.3%	10.4%	10.4%	10.3%	10.2%
生産年齢人口割合	51.9%	52.3%	52.4%	50.8%	50.0%	49.7%	50.0%	50.5%
老年人口割合	37.2%	37.1%	37.3%	38.9%	39.7%	39.9%	39.7%	39.3%

そこで、自治会長、安心安全、思いやり、地もと愛、にぎわい、子ども、センター振興、広報、行政連携の9つの部会をつくり、今後の本山地区のまちづくりを進めていく地域づくり計画を策定しました。

全体スローガン

愛のあふれるまちづくり わくわくドキドキ もとやま

《地区の将来像》

「愛」がいっぱいあふれた、温かい、そしてわくわくするような楽しい本山のまちをつくりましょう

各部会のスローガンと事業計画 (現) 現在行っている取組み (新) 新たな取組み(目標年度)

自治会長部会 続けよう！近所付き愛、助け愛

現	取組み	内容の変更点や目標年度
(現)	人権講座	参加者増を図る
(現)	自治会長研修	継続
(現)	慰霊祭	継続
(現)	門松づくり	小学生の参加を図る
(現)	どんど焼き	継続
(現)	地域活性事業	地区運動会の実施
(新)	道路や海岸の維持管理	→ R6
(新)	休耕田、山林などの維持管理	未定（可能性を探る）
(新)	デジタル回覧板	→ R8
(新)	空き家の活用	未定（可能性を探る）

安心安全部会 進めよう！声の掛け愛、守り愛

現	取組み	内容の変更点や目標年度
(現)	見守り隊対面式・感謝の会	継続
(現)	校区パトロール	外で子どもの姿をほとんど見ない 廃止

現	夏休み特別パトロール	継続
現	焼野海岸安全祈願祭	継続
現	防災講座	映像を利用するなど強化
現	合同防災訓練	強化
現	あいさつ運動	継続
現	見守り活動	継続
新	街灯の増設	随時 自治会で対応
新	空き家の把握活動	➡ R7 自治会で把握

◆ 地もと愛部会 育てよう！美化進め愛、郷土愛

現	取組み	内容の変更点や目標年度
現	ヒメボタル観察会	きらら交流館再開まで休止
現	アサギマダラおいでませ作戦	ヒヨドリバナの苗づくりを小学校に移管済み 植付協力
現	ヒヨドリバナ環境整備	} 市依頼
現	モリアザミ環境整備	
現	センター草刈	
現	小中学校環境整備	} 初年度 飲み物 → 次年度 謝金＋飲み物
現	本山駅・センター花壇整備	
現	地域の美化活動	監視カメラ設置
現	竜王山・くぐり岩の環境整備	クリーン作戦 etc→エリア拡大→大人 子ども 参加賞
新	ベンチの設置	➡ R8 ポイント
新	自然と触れ合う機会を作る	➡ R6
新	駐車場・トイレの整備	➡ R8
新	竜王山アスレチックの整備	未定（可能性を探る）
新	くぐり岩に満潮でも行ける橋	未定（可能性を探る）
新	フィッシングパークの設置	未定（可能性を探る）
新	サンショウウオ保護事業	➡ R6 市・竜王中学校・理科大へ保護活動依頼済
新	地域内の自然をつないで物語化	未定（可能性を探る）
新	緑地公園を明るく整備	未定（可能性を探る）
新	幸せの鐘アピール事業	➡ R8 竜王中学校生徒会に構想依頼済
新	きららビーチライトアップ	未定（可能性を探る）

◆ 思いやり部会 深めよう！心向け愛、支え愛

現	取組み	内容の変更点や目標年度
現	宅配弁当	業者の弁当で実施 年間2回実施 参加費200円
現	ふれあい昼食会	歩いて来れない方がいるので廃止
現	敬老おめでとう事業	敬老祝品（1000円）を配布 敬老会は歩いて来れない方がいるので廃止
現	見守り声掛けサポーター研修会	研修会と訓練を一緒に行う 親子など各自治会から参加してもらう
新	高齢者サロン	➡ R9 100歳体操以外で多世代が交流できる場づくりを行う
新	スーパー・コンビニ・病院誘致	未定（可能性を探る）
新	交通支援（定額コミュニティバス）	未定（可能性を探る）地域内事業所のマイクロバスなどを借用
新	障害者理解あいサポーター研修	➡ R9 研修に白杖や車イス体験などをプラスする

◆ にぎわい部会 創り出そう！多くのふれ愛、いい出愛

現	取組み	内容の変更点や目標年度
現	やけの美タフェスタ	継続 いずれ本山の行事として実施
現	七夕飾り	学校に協力を要請し、小中学生の参加を募る
現	ふれあい盆踊り大会	継続 活発にする
現	竜王山ウォーク	名称を変更してコースを一新する webを活用した宣伝
現	カローリング大会	継続
現	夕焼けピアガーデン	廃止
現	グランドゴルフ大会	体験会実施（特に子ども）で参加者増を図る
新	特産品の開発、販売	➡ R8 ガラスと食べ物 果樹園 プロジェクト事業に申請
新	焼野海岸海の家	➡ R7 きらら交流館（海辺の駅そらうみ）の事業計画決定後に検討する

新	カフェの新設	→ R10 //
新	地区運動会の開催	→ R8 要検討

◆ **子ども部会 応援しよう！みな認め愛、育ち愛**

現	取組み	内容の変更点や目標年度
現	本山小海の学習	経費支援
現	児童館夏まつり	
現	本山小山の学習	
現	児童館まつり	
現	児童館新春のつどい	
現	竜王中コサージュ贈呈	継続
現	タイムトレジャー	継続
新	子ども食堂	他 → R6 キッチン本山として実施
新	子育て支援	→ R6 本山おもちゃ図書館として実施
新	子どもの居場所づくり	の → R6 スタディールームとして実施
新	小学生おにぎりづくり体験	部 → R7 地元産の海苔や県内産の塩を使用
新	中学校マラソン大会支援	会 → R7 温かいもの（スープ、汁またはお茶等）を提供
新	親子手作りみそ教室	と → R7 PTA 役員を通じて小学校とコラボ
新	食育クラブ（親子、家族参加型料理	連 → R7 発酵調味料作り、梅干し、漬物作りなど（きららキッズやけの主催）
新	竜王山近辺の竹林整備	携 → R7 伐採した竹を有効活用して特産品開発など
新	野草探し体験	→ R7 野草料理を味わう
新	きららビーチマルシェ	→ R8 エシカルでサステナブルなマルシェを開催、小中学生の参加

◆ **センター振興部会 集まろう！センター寄り愛、学び愛**

現	取組み	内容の変更点や目標年度
現	春・秋の山野草ウォッチング	本山の自然と触れ合う機会として参加者増を図る
現	e スポーツ体験教室	参加者増を図る
現	夕焼けウォーク	太陽光発電の中を歩いて本山岬まで行ける貴重な機会として継続
現	本山フェスティバル文化祭	小中学生、大学生の参画を図る
現	風作り・七草がゆを食べる会	参加者増を図る
現	マグダーツ大会	中学生による運営
現	キッチン本山	子ども食堂として継続
現	本山おもちゃ図書館	子育て支援として継続 全国連絡協議会に参加する
新	Wi-Fi を活用した講座増	→ R7
新	e スポーツのクラブ化	→ R7 e スポーツを利用して健康増進・世代間交流を図る

◆ **広報部会 広めよう！情報寄せ愛、知らせ愛**

現	取組み	内容の変更点や目標年度
現	わくわくドキドキ本山発行	年4回 地域情報を増やす カラー印刷を高品質にする
現	講座等案内チラシ	継続 デジタル化を進める
現	センターHP	継続
新	運営協議会 HP 開設	→ R6 情報発信及びデジタル回覧板として活用
新	SNS での発信	→ R6
新	名所やカフェのチラシ	未定（可能性を探る）
新	Youtube 開設	→ R7 収益化を図り地域に還元

◆ **行政連携部会 つながろう！連携し愛、笑い愛**

現	取組み	内容の変更点や目標年度
現	ヒューマンフェスタ（人権講座）	継続
現	福祉大会	継続
現	防災フォーラム	継続
現	ジュニアフェスタ	継続 隔年
現	海岸漂着物回収作業	継続 ボランティアを募る
現	竜王山桜まつり	継続

令和6年9月策定 本山地区運営協議会「本山地区を愛する会」

